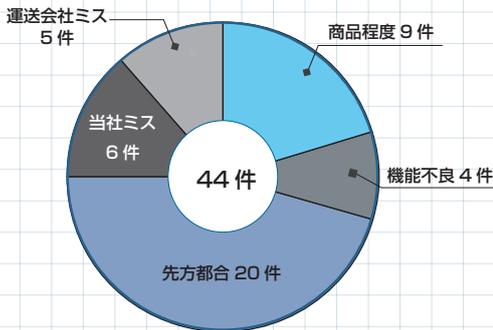


リポートニュース

平成27年5月号 NO.156

リノベートパーツの販売傾向を分析しますと、リサイクルパーツを活用しているBS様は、これまでの仲介業者を頼って中古部品を入手する方法から、ネット上で自らが商品の程度を判断して価格の安い部品を探す、自立した調達方法にシフトしている傾向があります。この為、当社フロントでは受注当日に在庫が無かった部品が後日入荷した時点で、お客様に連絡するサービスを展開しております。ここでの成約率は60%近い数値に達し、お客様のニーズに応じております。ネットにリリースするまでのタイムラグを活用して頂き入荷直後の旬のパーツを是非フロントでお求め下さい。

4月のクレーム ⑦ 集計報告



自社主力商品別クレーム (輸出版売はノークレームのため対象外です。)

商品別クレーム	件数	クレーム率	内 訳
バンパー	5件	5 / 1,360 0.37%	直し不完全で歪が残っている 3件 ツメの欠損見落とし、指示以外の取付ケ所を補修 各1件
フード	0件	0 / 315 0.0%	
フェンダー	1件	1 / 827 0.12%	なでるとわかる程度の変形がある 1件
ドア・Rゲート	0件	0 / 196 0.0%	
ライト	6件	6 / 1,134 0.52%	左右取付欠け、グリル寄り取付割れ、AFS警告 ランプ不良、LED点灯不良、点灯不良、光軸受け割れと滑車の変形 各1件
計	12件	12 / 3,832 0.31%	

大屋根設置工事

1年前から業者に頼んでいた工事がようやくスタートしました。従来からあるバンパー棚の上部を全面にシートで覆う工事で長期保存しているバンパーの劣化防止と防犯上の対策を目的としています。リノベートパーツの保管環境の向上に努め、より程度の良いパーツをご提供出来るように「カイゼン」を進めております。



リサイクル部品の行方

車の標準仕様になってきている数々の安全アシスト装置の影響なのか？どこかの修理工場でも事故車の入庫が減少しているようです。保険料率の改定に伴いリサイクルパーツの注目度は上っているものの、肝心の事故発生率の減少で、その出番がないのが実状です。又、H25年度の中古車輸出が160万台にも達し、リサイクル部品を生産する解体事業者の元に車が集まらず在庫不足が深刻な問題となっています。その為にリサイクル部品の引合いがあっても在庫不足で満足に部品を供給出来ない状況です。円安の影響で海外に流出される中古車が今後増える事は確実ですので国内のリサイクル部品は需要と供給のバランスが崩れ、せっかくのビジネスチャンスを生かすにきかずリサイクル部品活用の気運の高まりも一過性のものに終る危惧を感じています。

パート社員の社会保険完備

生産部のフルタイムパート社員を対象に5年計画でパート社員の社会保険加入を進めて来ましたが、H27.4月で全フルタイムパート社員の加入手続きが終了しました。今後のパート社員の募集要項には「社会保険完備」と優位な採用条件を提示できるので生産部門の世代交代もスムーズにおこなわれるものと期待しています。

豆知識 アルファード・ヴェルファイア GGH30 H27.1 ~発売

・インテリジェントパーキングアシスト2に採用された側面センサーの穴です。リアに付くのはトヨタが初となっている駐車支援システムです。(上空から見たパノラマビューモニターとは違います)



アルファード・ヴェルファイア GGH30 Rバンパー



側面インテリジェントパーキングアシスト2の取付穴

自動車損害保険改定後の動向

H25年度、損害保険料率算出機構によると、前年対比で支払保険金額は対人賠償以外は減少している。特に車両保険の支払い件数は▲64万件、支払い金額は▲886億円と大きく減少した。これは保険契約者が修理時に保険を使用することを控えた影響と考えられています。保険を使わなくなったことで自動車修理工場にとって部品費の低減はますます重要となっているのでリサイクル部品の活用は顧客満足度を高める有効な手段となるつつあります。

(NGP ニュース No.289 4月号から抜粋)

新入社員の紹介

4月より2名の新入社員を迎えました。配属先は商品管理課です。ここで商品知識を学び、5年以上のキャリアを積んで在庫確認が出来る社員に成長します。次世代のリノベートパーツを継承してくれる若い社員ですのできっちりとして教育してゆくつもりです。



富岡君・三原君